

「愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン）」（素案）の概要

～全ての子どもへの適切な指導・支援の充実を目指して～

計画の趣旨

特別支援教育に関するさまざまな課題を総合的にとらえ、中・長期的な視点に立った本県における特別支援教育の推進方策を検討し、今後の指針となる「愛知県特別支援教育推進計画」を策定する。

計画期間

10年程度先を見据えながら、今後重点的に取り組む期間を平成26年度から30年度までの5年間とする。

進行管理

毎年度、進捗状況を調査分析しながら、必要に応じて計画の見直しを行う。

幼稚園・保育所、小中学校における特別支援教育の推進

○特別支援教育校内支援体制の充実

- (1) 校内支援体制の確立と校内委員会の活性化
- (2) 個別の教育支援計画・指導計画の作成率・引継率向上

○研究、研修の充実による支援、指導力の向上

- (1) モデル事業の実施、特別支援学校教諭免許状保有率向上
- (2) 小中学校と特別支援学校の人事交流

○インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の在り方

- (1) 就学相談支援事業の実施、保護者向けリーフレット配布
- (2) 交流及び共同学習の推進、合理的配慮

高等学校等における特別支援教育の推進

○個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用の促進

- (1) 個別の教育支援計画等の中学校からの引継、個別の指導計画の作成
- (2) 組織的な校内支援体制づくり

○研究、研修の充実による教員の指導力の向上

- (1) ユニバーサルデザインの授業等の研究、研修
- (2) 指導内容などの配慮や工夫、合理的配慮

○高等学校等と特別支援学校との連携

- (1) 専門高校における交流及び共同学習
- (2) 高等学校等と特別支援学校の人事交流

特別支援学校における特別支援教育の推進

○教育内容の充実

- (1) 障害の特性に配慮した教育内容の充実
 - ・高等部重複障害学級の設置拡充
 - ・障害の特性に応じた教育課程の研究
 - ・交流及び共同学習の充実（インクルーシブ教育の支援）
- (2) 教員の専門性向上のための研修等の充実
 - ・特別支援学校教諭免許状保有率の向上
 - ・校内研修の工夫、充実
 - ・小中学校・高等学校と特別支援学校の人事交流

○特別支援学校の整備

- (1) 学校規模の過大化（教室不足）の解消
 - ・今後、4校（半田・春日台・安城・三好）の過大化解消策を具体化
- (2) 通学環境の改善（スクールバスの整備など）
 - ・肢体不自由、知的障害特別支援学校のスクールバスの増車
 - ・田口高校への分教室設置
- (3) 教育諸条件の整備
 - ・スクールカウンセラーの配置
 - ・冷房設備、防災緊急通報装置、タブレット型端末、FM補聴システムなどの整備
 - ・施設内教育の整備（第2 青い鳥学園内など）
- (4) 医療的ケアの充実
 - ・看護師配置の拡充（一部常勤化）
 - ・教員、看護師を対象とした研修の充実

関係機関と連携した就労支援

○一般就労に向けた関係機関との連携

- (1) 特別支援学校等と関係機関との連携
- (2) 地域の関係機関とのネットワークの構築
- (3) 高等学校等と関係機関との連携

○福祉就労に向けた障害者支援施設等との連携

- (1) 自立支援協議会等との連携や情報共有
- (2) 個別移行支援計画の活用、支援の移行

○就労先の開拓（職域の拡大）

- (1) 就労支援コーディネーターの配置
- (2) あいち夢はぐくみサポーター制度の推進による登録企業の増加と障害者雇用の理解啓発
- (3) 知的障害特別支援学校高等部への「職業コース」設置
- (4) 高等特別支援学校と専門高校との交流及び共同学習
- (5) 中学校を卒業した知的障害を伴う発達障害のある生徒を対象とした職業科の設置

